大高 SDGs 通信

2020.12・2021.1月号

Otaka Company SDGs newsletter

Human & Quality

SDGsアンケート調査について

社内のSDGs浸透状況やSDGs取組み状況等を把握するために、全社員向けて、12月に例年通りのSDGsアンケート調査を実施しました。 ペーパーレス化を図るため、マイクロソフトフォームで作成したWebアンケートを中心に実施しました。締め切りの1月18日までに34人が Web提出で、18人が紙提出で、合計52人です。アンケート結果の報告は2月に開催する安全衛生委員会で報告する予定です。

「ニュースSDGsレポート」活動について

SDGsの普及啓発を図り、個々の意識を向上するため、年末年始にSDGs推進チームKUKULUと企画調査室は「ニュースSDGsレポート」という活動を企画しました。活動の内容は気になる新聞記事やネット記事をSDGsゴールに紐づけて、感想や自身と家族の取組みをレポートにすることです。

今回の活動において、合計21名の社員がレポートを提出しました。そのうち、1名は3部、2名は2部を提出し、提出されたレポートは合計25部です。また、社長賞は4名決定されました。1月29日に開催された安全衛生委員会で企画調査室から提出状況について簡単な報告を行いました。また、社長から社長賞の決定理由を説明し、「この企画は身近な話題からSDGsに気付くことができて、大変良かった」というコメントがありました。社長賞を受賞したレポートはデスクネッツで公表しています。

提出されたレポートの内容からみると、SDGsの8番（SDGs経済効果、働き方改革）、11番（防災や空き家問題）、13番（脱炭素化社会）、2番（食品ロス削減）、4番（教育）、7番（エネルギー問題）に関連する記事の関心度が高いことが分かりました。日頃の生活の中でも、SDGsに関して、細かいことでもいろいろなことを取り組めることを感じました。

更に、社員から「日頃からSDGsを意識して新聞を読むと、様々な観点から読むことができる」、「ダジャレつながりの予想外のSDGs景品をもらって、大変嬉しかった」等の声がありました。

SDGs景品について

今回の「ニュースSDGsレポート」の景品ですが、SDGsを意識しながら、社長賞は社長が考えて、参加賞はKUKULUと企画調査室が考えて、決めました。次のページに景品の例を紹介します。何気ない日々の買い物でちょっとだけSDGsを意識し、社会や地球の問題の解決に貢献できるかもしれません。

編集：企画調査室　田

創業の精神 ～ チャレンジハングリー ～

大高 SDGs 通信

2020.12・2021.1月号

Otaka Company SDGs newsletter

Human & Quality

SDGsと買い物

普段の生活で買い物は誰でもします。商品をつくることは企業の責任ですが、それを買って使うのは私たちの責任です。「社会をすこし良くしてくれる」商品を使うことはSDGsに貢献できます。毎日のお買い物から、未来をよくするアクションをはじめましょう。今回は社内のイベント「ニュースSDGsレポート」の景品例を紹介します。ご参考になれば幸いです。

◆ 社長賞：QUONチョコレート ＆ LinkLine 石鹸

QUONチョコレート

障害者を支援する「全国夢のチョコレートプロジェクト」の商品です。QUONチョコレートは全国38拠点28店舗があり、全国で約350名の就労者のうち障害がある方が250名働いている。子育て中の女性や社会の中で悩みを抱える若者達への支援も行っている。第2回ジャパンSDGsアワードにて内閣官房長官賞を受賞。

（https://quon-choco.com/sdgs/）

株式会社LinkLine

障害者の社会参加と自立を支援しています。石けん作りを始め、企画から製作、包装まで障害のある職人がハンドメイドで製造しています。

（http://www.linkline.co.jp/index.html#service）

◆ 参加賞：

蜜蝋ラップ

蜜蜂の巣の元となる蜜蝋でコットンの生地をコーティングした天然の食品用ラップです。繰り返し使え、使用期間はおよそ１～２年です。蜜蝋ならではの保温性と抗菌性が食品の美味しさをしっかり守り、食品ロス削減に貢献できます。また、プラスチックを使用せず、廃棄後も有害物質を排出せずに分解され、最後は自然へ還り、ゴミにならないです。（https://shop.honeymother.jp/shopbrand/ct33/）or（https://acowrap.jp/）

洗濯マグちゃん

「マグネシウムと水だけで洗う」人と環境にやさしい洗濯用品です。洗濯機に入れるだけで、水道水が洗浄力のある弱アルカリ水に変化し、皮脂汚れや汗などの汚れを落とします。洗濯槽やホースの汚れも付きにくくなり、掃除も楽ちんになります。繰り返し使えるので補充の手間もかからず、毎回いちいち量を計らなくてもポンと入れるだけ。お洗濯がラクになり、しかも経済的。約300回使用可能だそうです。使用後は植物の肥料に再利用できます。（https://magchan.com/c/sentakuso/sentakumagchan/four）

越中八尾和紙　桂樹舎の名刺入れ

富山市の伝統工芸越中和紙（八尾和紙）を利用し、その昔からの製法をかたくなに守り続けており、丈夫さを利用した和紙製品です。また、丈夫な紙に型染技法を用いて、型染めの仕上がりは、印刷では出せない温かい独特の風合いを生み出します。使い込んでいく程にやわらかくなり、艶が出てきます。紙を漉き、染め、加工するまで職人の手仕事によるものです。地元を応援するため、地元での買い物を増やしましょう。

※SDGsショッピングガイドもあり、持続可能な社会の実現を意識した商品やサービスを紹介しています：http://buycott.me/sdgs/

編集：企画調査室　田